

築上町総合計画策定に係る若者世代
アンケート調査報告書

令和8年4月

～目次～

I. 調査概要	3
II. 調査結果のまとめ	4
1. 回答者の属性について	4
2. 築上町での暮らしについての傾向分析	4
3. 築上町での定住意向についての傾向分析.....	4
4. まちの魅力についての傾向分析.....	5
5. 今後のまちづくりについての傾向分析.....	5
III. 調査結果.....	6
1. 回答者の属性.....	6
(1) 性別.....	6
(2) 学年.....	6
(3) 居住地区	7
2. 築上町での暮らしについて	8
(1) まちの住みやすさ	8
(2) 住みやすいと考える理由	10
(3) 住みにくいと考える理由.....	12
3. 築上町での定住意向について.....	14
(1) まちの定住意向.....	14
(2) 10年後も住んでいたい、住んでいると考える理由	18
(3) 10年後も住みたくなる理由.....	19
(4) 10年後も住んでいられる理由.....	20
4. まちの魅力について	21
(1) まちの魅力	21
(2) 友達や知人にすすめたい気持ち	23
(3) まちをよくするための活動に参加したい気持ち	24
(4) まちをよくするための活動に参加している人への感謝の気持ち.....	24
5. 今後のまちづくりについて	25
(1) まちづくりのアイデアや希望.....	25
(2) 10年後の築上町	26

I. 調査概要

1. 調査の目的

この調査は、「第3次築上町総合計画」の策定にあたり、町民の皆さまの暮らしの状況や意識、ニーズ、将来のまちづくりへの考えなどを把握し、今後のまちづくりに向けた参考資料とするために実施したものです。

2. 調査の仕様

(1)調査対象

築上町在住の18歳以下の若者世代(中学生、高校生、専門学生、就業者)を無作為抽出

(2)調査方法

インターネット回答

(3)調査期間

令和8年1月19日(月)～2月6日(金)

(4)分析方法

○単純集計及び、属性別(性別、地域別)のクロス集計を実施した。

○性別分析において、「その他」は該当サンプルが12件と少ないため、クロス集計におけるグラフ・数表には記載していない。

○回答結果は、各項目の無回答を含む有効サンプル数に対する百分率(%)で示し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表示している。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100%にならない場合がある。

○複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶことができる方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対してのそれぞれの比率を示している。そのため、合計が100%を超える場合がある。

○図表中の「N」は各項目の集計対象者総数(回答者限定の設問の場合は、当該限定条件に該当する人)を示している。

(5)回収率

配布数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)
809	298	36.8%

II. 調査結果のまとめ

1. 回答者の属性について

本調査の回答者は、女性が約 51%で、男性よりやや多くなっています。学年別にみると中学 1 年生が最多で、概ね、学年が下がるほど回答者が多くなる構成となっています。居住地区については、築城地区、椎田地区、八津田地区で全体の約 8 割を占める構成です。

2. 築上町での暮らしについての傾向分析

本調査では、まちの住みやすさ【問 4】について、『住みやすい』と回答した割合が 72.8%と、7 割を超えています。性別ごとにみると、男性の回答者のうち『住みやすい』と答えたのは約 71%で、女性の回答者のうち『住みやすい』と答えたのは約 78%で、女性の方が割合としては高くなっています。居住地区別にみると、母数の違いには注意する必要がありますが、築城地区に住む回答者のうち『住みやすい』と答えたのは約 79%であるのに対し、下城井地区に住む回答者のうち『住みやすい』と答えたのは約 50%で、住みやすさについては地域差が一定程度あることがうかがえます。

住みやすさの理由【問 5】については、自然や景観の美しさ、田舎ならではののどかさを挙げる回答が多かった一方、買い物や交通機関など生活する上でのサービスが充実していることを挙げる回答は少数でした。対して、住みにくさの理由【問 7】については、交通機関や買い物において不便であることや遊べる場所が少ないことを挙げる回答が多く、全体として、住民サービスの側面におけるまちの生活環境については評価が低いことがわかりました。

3. 築上町での定住意向についての傾向分析

本調査では、定住意向【問 9】について、『住んでいないと思う』と回答した割合が 64.4%で、6 割を超えています。居住地区別にみると、母数の違いには注意する必要がありますが、西角田地区や下城井地区などでは『住んでいないと思う』と回答した割合が 7 割を超えています。学年別にみると、中学 1 年生で『住んでいないと思う』と回答した割合が約 56%であるのに対し、高校 2 年生で『住んでいないと思う』と回答した割合は約 77%に達しており、学年が上がるごとに、将来的に町を離れることを想定している中高生が多くなることが傾向としてうかがえます。

10 年後も住んでいたいと思う理由【問 10】については、自然が美しいこと、地元ゆえに住み慣れていることを挙げる回答が多くありました。10 年後何があれば住みたくなると思うか【問 11】については、大型商業施設や娯楽施設等の遊べる場所、チェーン店等の飲食店の充実を求める声が多く挙がりました。10 年後何があれば住んでいられるか【問 12】については、大型

商業施設や娯楽施設等の充実のほかに、交通機関の利便性の向上や、働ける環境の充実を挙げる回答も目立ちました。

4. まちの魅力についての傾向分析

まちの魅力【問 13】については、自然や景観の美しさを挙げる回答が圧倒的に多数を占めました。その他にも、田舎ならではののどかさや特産品が多いこと、地域住民の温かさに言及する回答も多数あり、町の強みとなり得る要素について、中高生が高く評価していることがうかがえました。

一方で、築上町を他の人にすすめたいか【問 14】については、否定的な意見が多数を占めたほか、築上町をよくするための活動への参加意欲【問 15】についても、意欲的でないとする回答が多くなりました。全体として、将来的に自らも当事者となって築上町の魅力を向上させたいと考える中高生は少数であることが示唆されます。

5. 今後のまちづくりについての傾向分析

まちづくりのアイデアや希望【問 17】については、商業施設や娯楽施設の充実を挙げる回答が多数を占めたほか、スポーツ施設等の運動できる環境の充実を求める声が目立ちました。

10年後の築上町に求めること【問 18】については、安心・安全で住みやすいことを求める回答が最も多くなったほか、若者を中心に人口が増えることでまちに活気やにぎわいが出ることを望む回答も多くありました。

全体として、中高生が生活する上で欲しているサービス(商業施設、娯楽施設、移動しやすい交通機関等)が町に不足していることを踏まえた要望が、本調査にはよく表れていました。一方で、自然の美しさや田舎ならではの静かさに由来する暮らしやすさについては多くの中高生が肯定的な印象をもっており、それを維持・向上していくことがまちづくりにおいて最優先と考える人が多くいるとの示唆が得られました。

III. 調査結果

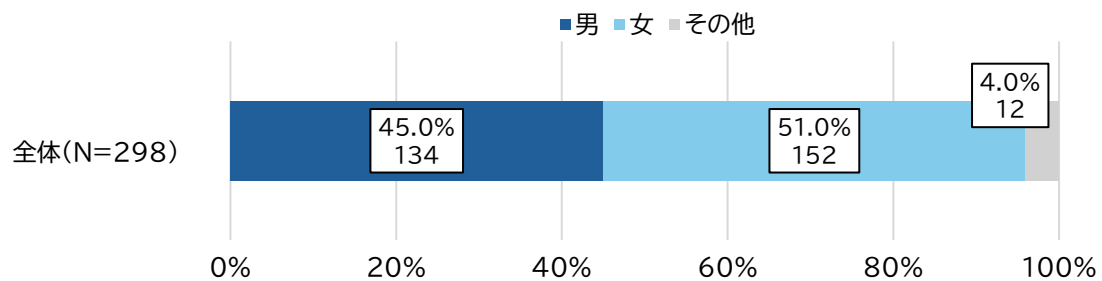
1. 回答者の属性

(1) 性別

問1. あなたの性別をお答えください。(1つだけに○)

○回答者の性別については、「男性」が45.0%、「女性」が51.0%となっています。

図1-1 性別 (全体)

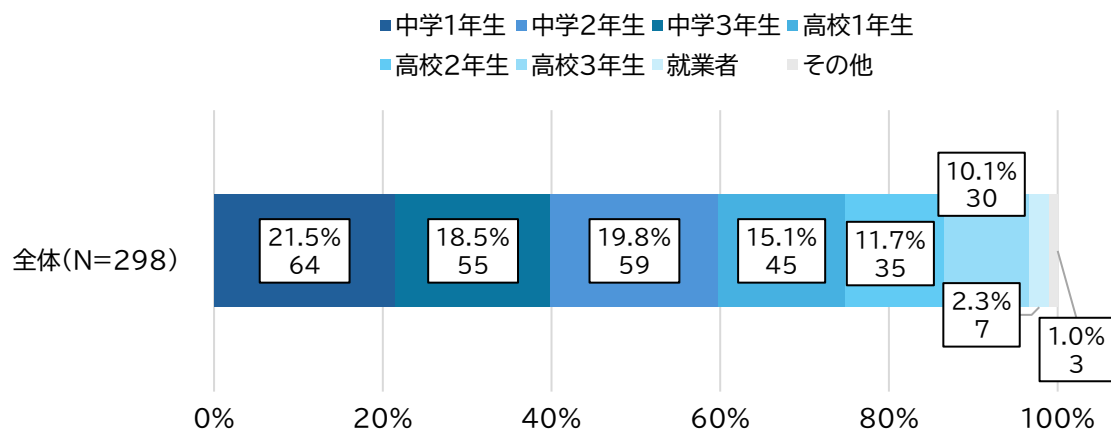


(2) 学年

問2. あなたの今の学年を教えてください。(1つだけに○)

○回答者の学年についてみると、最も多い「中学1年生」(21.5%)をはじめとする中学生が全体の過半を占めています(合計で59.7%)。また、高校生(合計で36.9%)のほか、中学校を卒業して就業した人(2.3%)も一部含まれています。

図1-2 学年(全体)

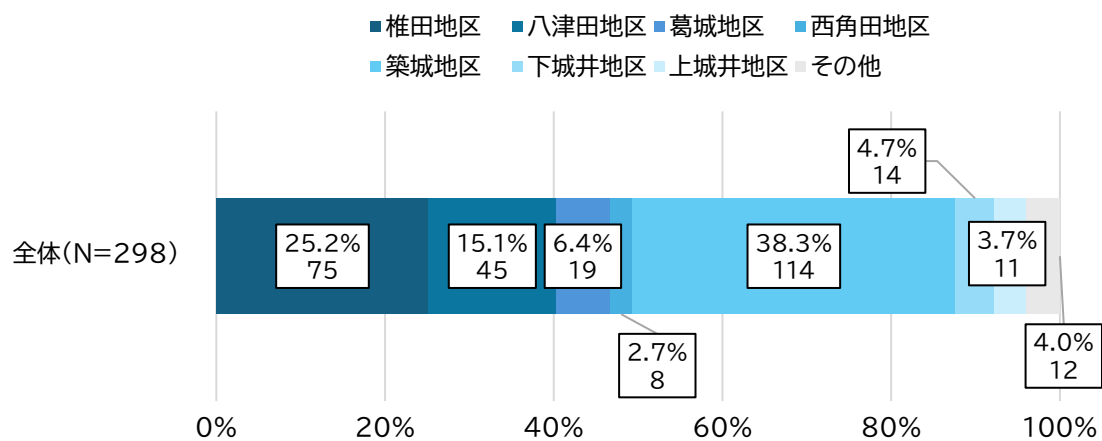


(3) 居住地区

問3. 今住んでいる地域を教えてください。(1つだけに○)

○回答者の居住地区については、「築城地区」(38.3%)が最も多く、次いで「椎田地区」(25.2%)、「八津田地区」(15.1%)の順となっています。

図1-3 居住地区(全体)



2. 築上町での暮らしについて

(1) まちの住みやすさ

問4. あなたにとって、築上町は住みやすいですか。(1つだけに○)

○まちの住みやすさについて、「とても住みやすい」(16.8%)と「まあまあ住みやすい」(56.0%)を合わせた『住みやすい』(72.8%)が、「あまり住みやすくない」(20.1%)と「住みにくい」(7.0%)を合わせた『住みにくい』(27.2%)を大きく上回っています。

図2-1 まちの住みやすさ(全体)

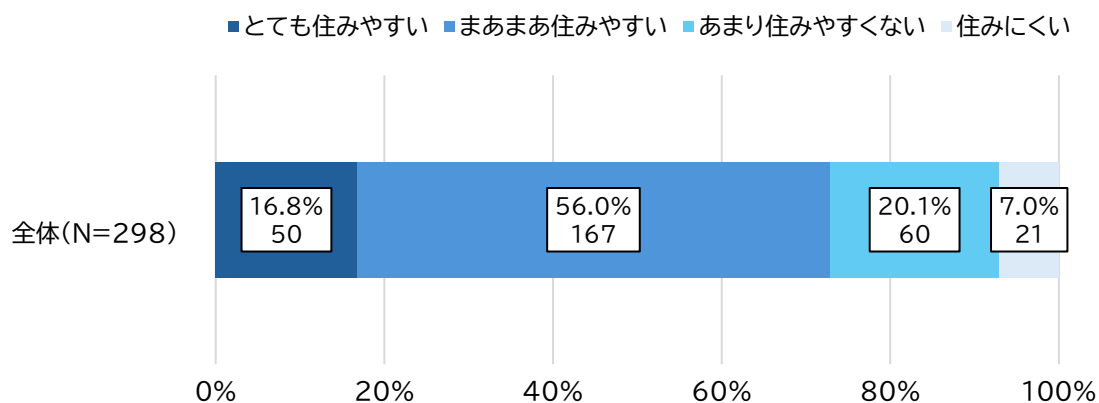


図2-1 まちの住みやすさ(性別)

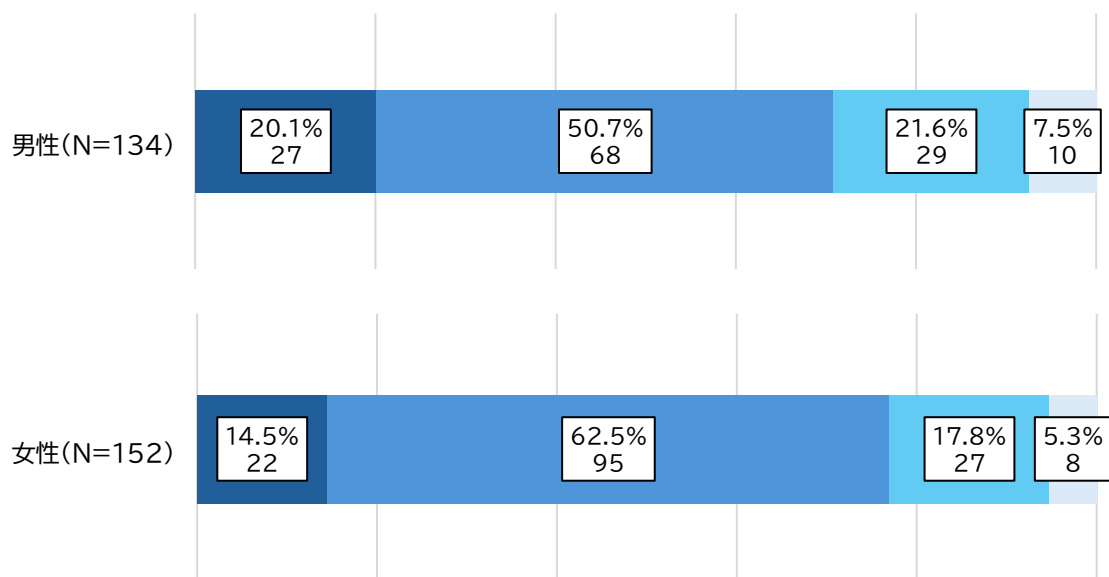
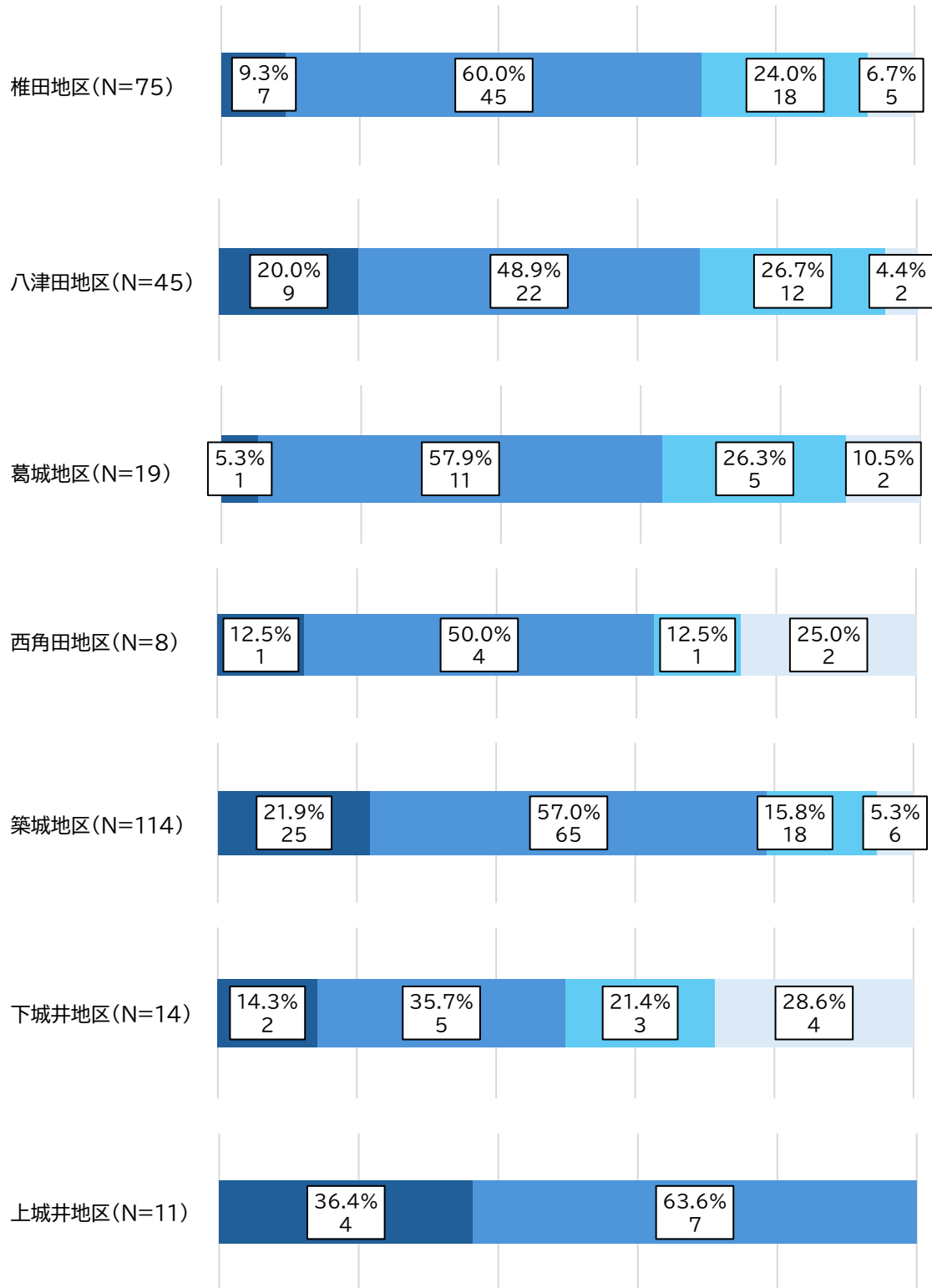


図2-1 まちの住みやすさ(地域別)

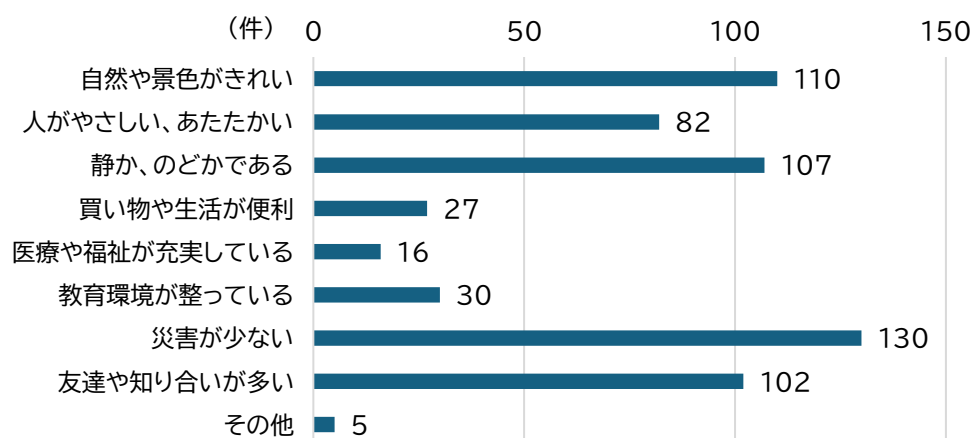


(2) 住みやすいと考える理由

問5. 築上町のどんなところが住みやすいと思いますか。(いくつでも)

○住みやすいと考える理由について、「災害が少ない」(130件)が最も多く、次いで、「自然や景色がきれい」(110件)、「静か、のどかである」(107件)の順となっています。一方で、「買い物や生活が便利」(27件)、「医療や福祉が充実している」(16件)は少数となっています。全体として、生活する上での快適性については高く評価されている反面、生活する上での住民サービスの利便性については課題があると考えられます。

図2-2 住みやすいと考える理由



問6. 問5で「その他」と回答した場合は、具体的にお書きください。

○住みやすいと考えるその他理由(自由記述)については回答数が少なく、表 2-2 においてほぼ全ての回答を抜粋しています。「まちの安全が確保されている」や「自然が多い」「空気がきれい」などといった回答がみられます。特に、「自然が多い」「空気がきれい」と答えた回答者は、上述の問 5 で「自然や景色がきれい」を選択した上で、さらに問 6 でも自然の豊かさやきれいな空気に言及していることから、町の自然について高く評価していることがわかります。

表2-2 住みやすい理由の「その他」回答結果(一部抜粋)

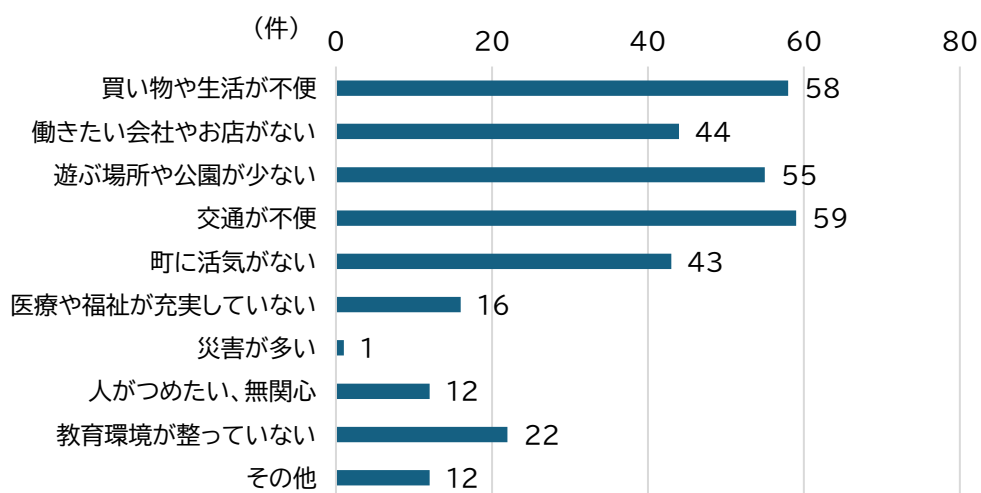
NO	問6の回答	左の回答者の問5の回答 (「その他」以外)
1	まちの安全が確保されている	・災害が少ない
2	自然が多く、空気が綺麗でこのまちが大好き	・自然や景色がきれい ・人がやさしい、あたたかい ・静か、のどかである ・買い物や生活が便利 ・教育環境が整っている
3	空気がきれい	・自然や景色がきれい ・静か、のどかである
4	車があれば、お店へのアクセスにも大きな不便はない	・災害が少ない
5	地元で住み慣れている	・自然や景色がきれい ・人がやさしい、あたたかい ・静か、のどかである ・買い物や生活が便利 ・教育環境が整っている ・災害が少ない ・友達や知り合いが多い

(3) 住みにくいと考える理由

問7. 築上町のどんなところが住みにくと思いますか。(いくつでも)

○住みにくいと考える理由について、「交通が不便」(59件)が最も多く、次いで、「買い物や生活が不便」(58件)、「遊ぶ場所や公園が少ない」(55件)の順となっています。交通や買い物など、身近な生活環境に対する不満や、中高生どうして集まって遊ぶことができる場所が少ないことに対する不満が根強くあることがうかがえます。

図2-3 住みにくいと考える理由



問8. 問7で「その他」と回答した場合は、具体的にお書きください。

○住みにくいと考えるその他理由(自由記述)について、回答を類型化し、当てはまる回答が複数あった類型を表 2-3 に集約しました。街灯が少ないことによる夜間の安全性に対する懸念や、交通機関や駅のサービスに対する不満など、身近な「住みにくさ」に関する回答が目立ちました。

表2-3 住みにくい理由の「その他」回答結果

類型 NO	回答の類型	実際の回答 (一部抜粋)
1	(主に夜間の)安全面の不安	・街灯をつけてほしい ・帰り道などが非常に危険
2	交通機関の不便	・JRの本数が少ない ・築城駅まで行かない列車がある
3	駅環境・駅サービスの不備	・駅員がない ・駅のトイレが不衛生である
4	スポーツ施設の不足	・スポーツ施設などが全くない

3. 築上町での定住意向について

(1) まちの定住意向

問9. 10年後、あなたは築上町に住んでいる、住んでいたいと思いますか。
(1つだけに○)

○10年後も築上町に住んでいる、住んでいたいと思うかについては、「住んでいたい、住んでいないと思う」(38.9%)と「住んでいたいと思わない、住んでいないと思う」(25.5%)を合わせた『住んでいないと思う』(64.4%)が多数となっています。まちに住み続けたいという意向はあったとしても、進学や就職などで将来的に町を離れることを想定している中高生が多いことがわかります。

図3-1 定住意向 (全体)

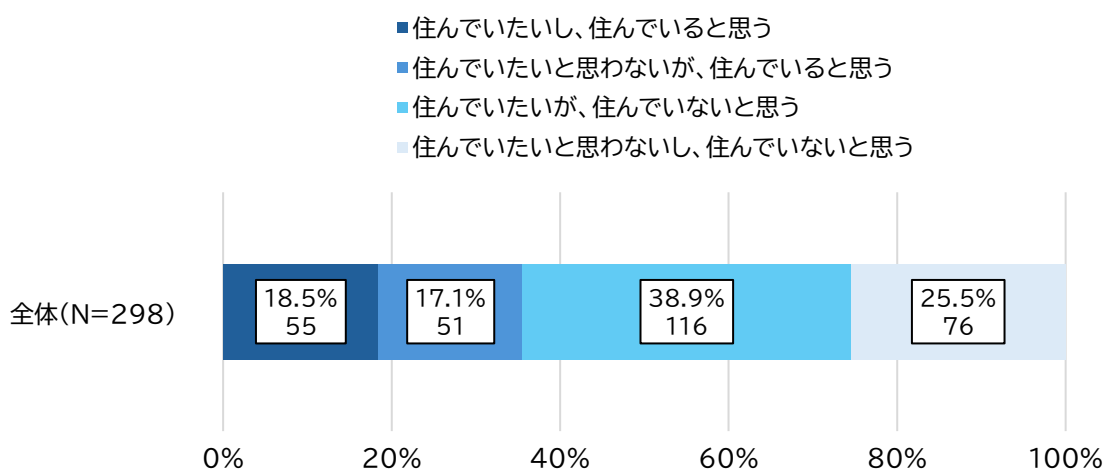


図3-1 定住意向 (性別)

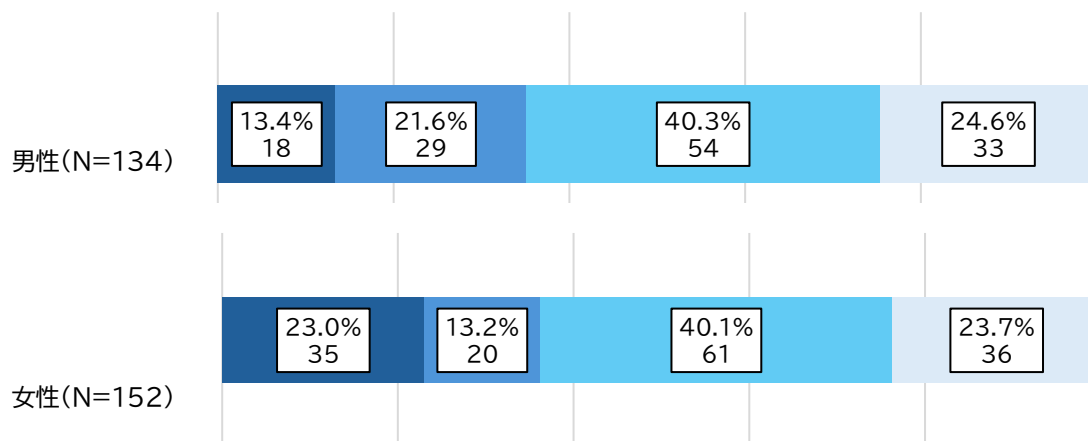


図3-1 定住意向 (地域別)

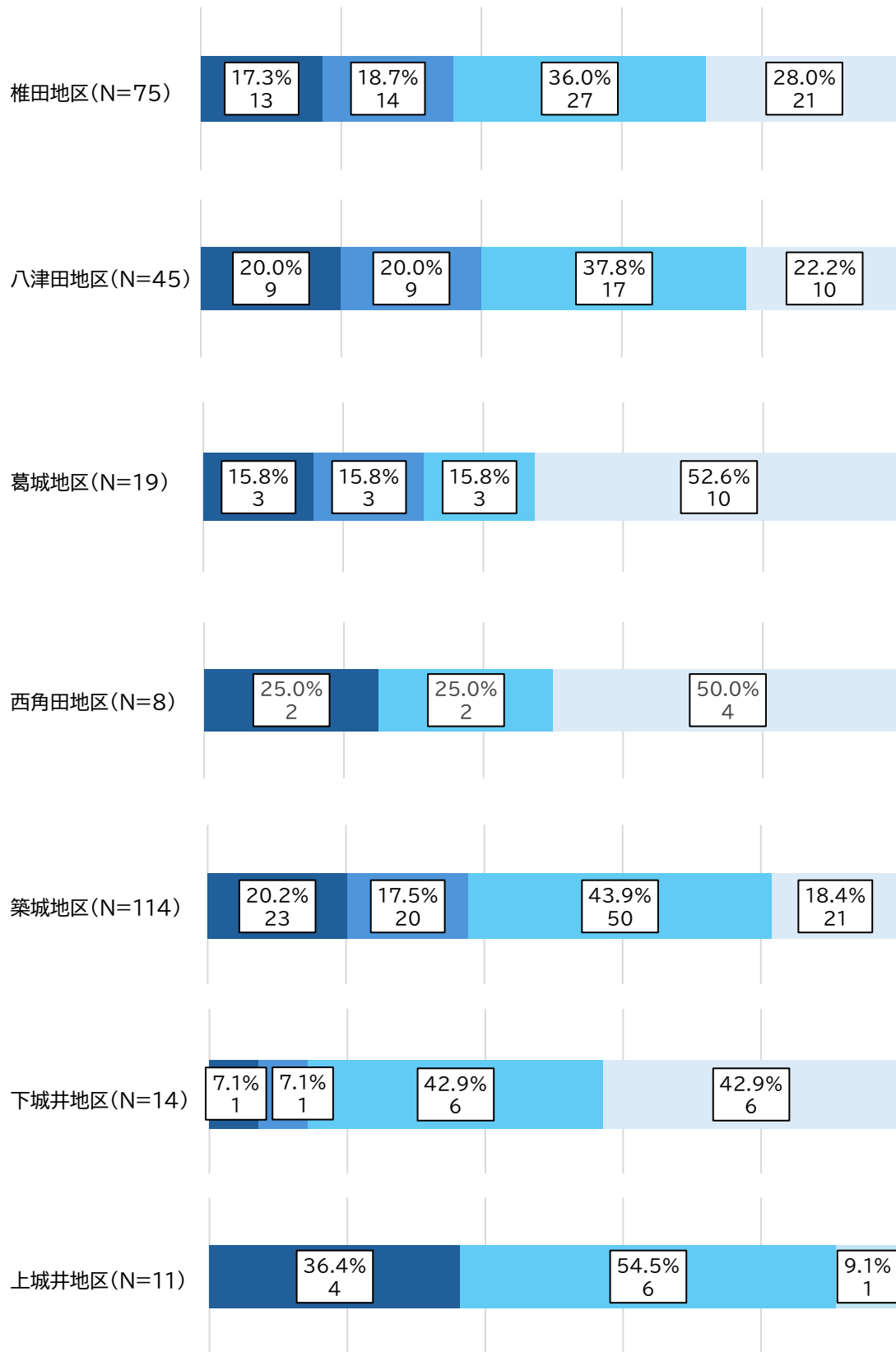
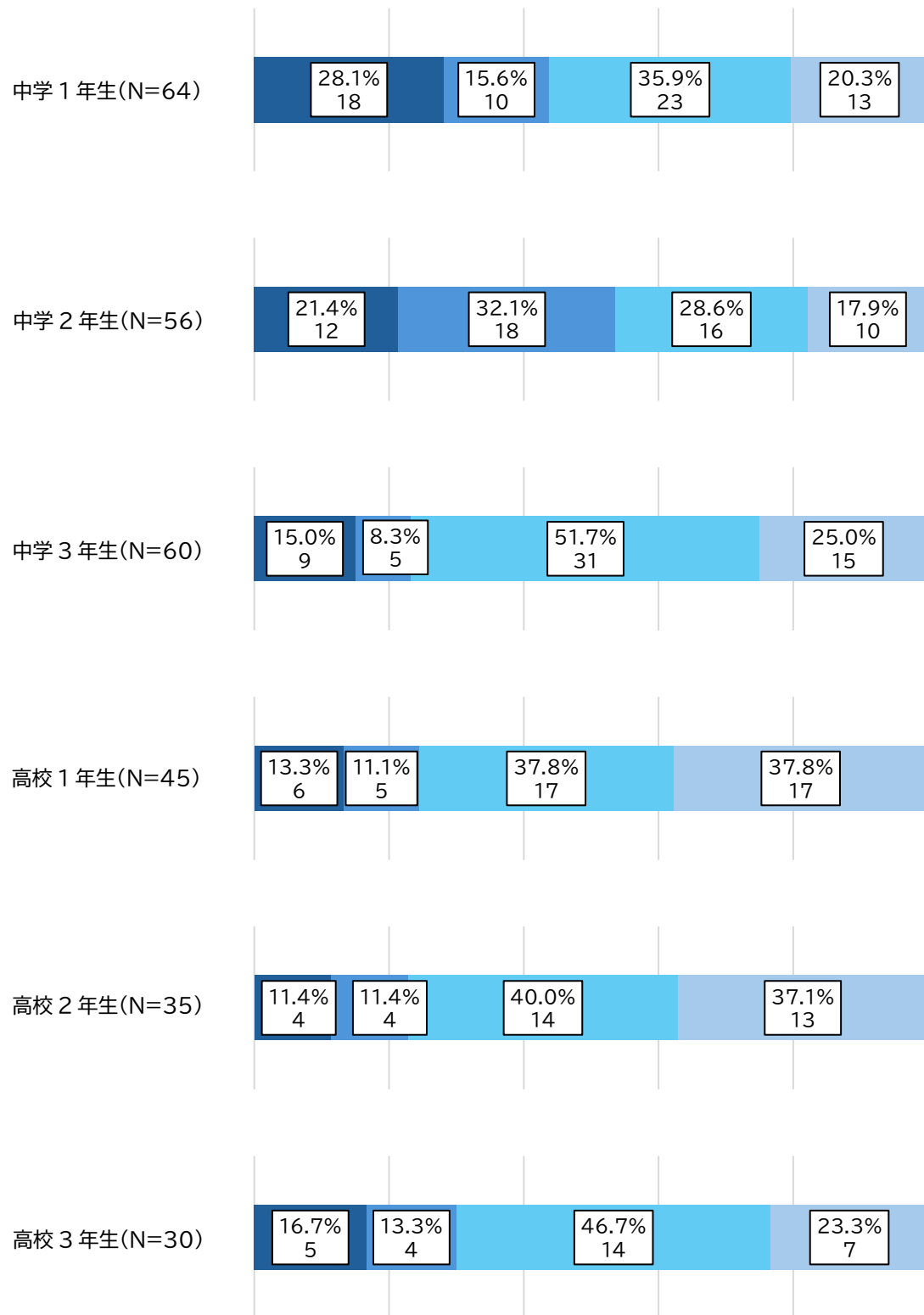
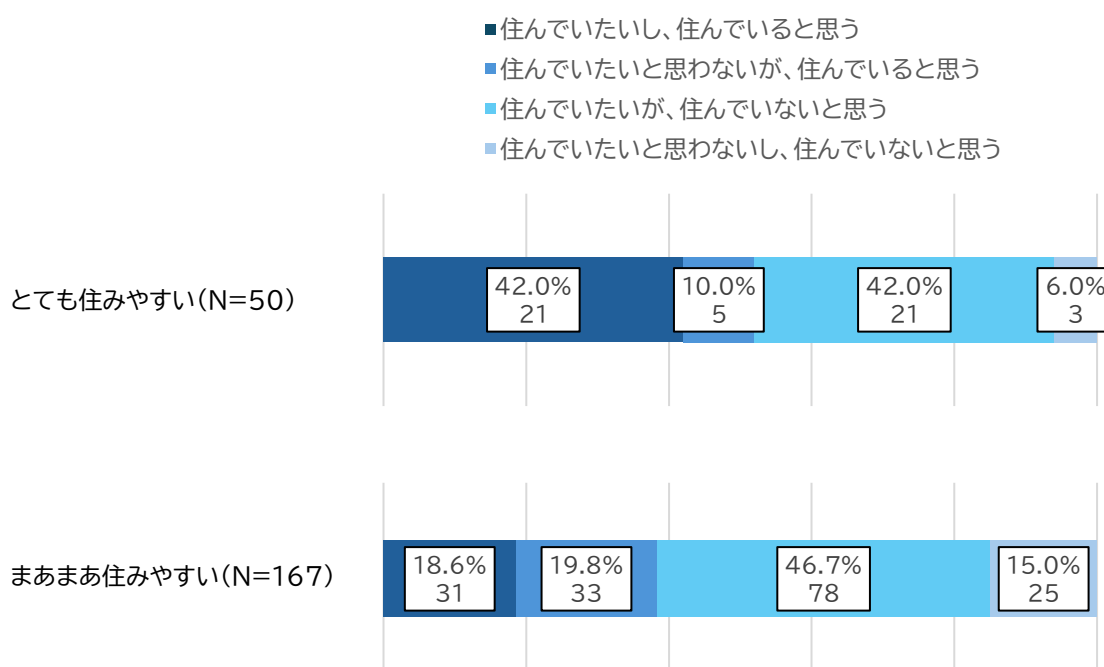


図3-1 定任意向（学年別）



○また、まちの住みやすさについて尋ねた問4で「住みやすい」と回答した人に注目してみると、問4で「とても住みやすい」と回答した人の約16%、「まあまあ住みやすい」と回答した人の約35%が、「住んでいくくない」と回答しました。このことは、現状まちが「住みやすい」と感じていたとしても、それが将来的に「住み続けたい」と考える理由になるとは限らないことを示唆しており、若者の将来的な定住に向けた不安を解消するような施策が求められるといえます。

図 3-1 定住意向(まちの住みやすさとのクロス集計)



(2) 10年後も住んでいたい、住んでいると考える理由

問10. 10年後も住んでいたいし、住んでいると思う理由は何ですか。

○10年後も住んでいたいし、住んでいると思う理由(自由記述)について、回答を類型化し、当てはまる回答の数が多かった上位5類型を表3-2に集約しました。「住み慣れている」や「のどかで生活しやすい」、「災害が少ない」など、生活する上での快適性・安心感に言及した回答が多く、自然や景観、食の豊かさに魅力を感じている回答も一定数みられました。

表3-2 住んでいたい、住んでいると思う理由

類型NO	回答の類型	回答数(N=48)	実際の回答例(一部抜粋)
1	地元で住み慣れている	12	・住み慣れていて離れがたいから ・慣れた環境でゆったり過ごしたいから
2	のどかで生活しやすい	12	・居心地のよい場所だから ・都会ではなく、のどかな雰囲気の場所で暮らしたいから
3	自然豊かで景観が良い	6	・自然が豊かで、食べ物がおいしいから ・まちの綺麗な景色に日々心が癒されているから
4	災害が少なく安心して住める	5	・大きな災害が少なく、平穏無事に生活できると思ったから
5	家族がいる	5	・何かあった時、家族の近くに住んでいた方が楽だと思うから

(3) 10年後も住みたくなる理由

問11. 10年後の築上町に何があれば住みたくなると思いますか。

○10年後の築上町に何があれば住みたくなるか(自由記述)について、回答を類型化し、当てはまる回答の数が多かった上位5類型を表3-3に集約しました。大型商業施設等による買い物環境の充実を求める回答が約半数を占めており、次いで、公園や娯楽施設等の遊べる場所や飲食チェーン店が増えてほしいとの回答が多数みられました。

表3-3 10年後も住みたくなる理由

類型NO	回答の類型	回答数(N=93)	実際の回答例(一部抜粋)
1	大型商業施設等の買い物に便利な場所	48	・大型ショッピングモールなどの誰でも行けて楽しめる施設 ・便利に買い物ができるスーパーマーケットやコンビニエンスストア
2	公園・娯楽施設等の「遊べる場所」	27	・スポーツができる大きな公園 ・映画館やゲームセンターなどの娯楽施設
3	カフェ等の飲食店	14	・大手のチェーン店をはじめとする飲食店
4	働く場所・収入	13	・働きがいのある大きな企業 ・高い収入が得られる仕事
5	公共交通機関の利便性	10	・電車の本数が増えること ・都市部にアクセスしやすい環境

(4) 10年後も住んでいただける理由

問12. 10年後の築上町に何があれば住んでいただけると思いますか。

○10年後の築上町に何があれば住んでいただけるか(自由記述)について、回答を類型化し、当てはまる回答の数が多かった上位7類型を表3-4に集約しました。大型商業施設等による買い物環境や公園・娯楽施設等の「遊べる場所」の充実を挙げる回答が半数以上を占めました。また、問11の回答状況と比較すると、「公共交通機関の利便性」に関する回答の割合が高くなっているほか、労働や子育てに関する環境の充実など、住み続ける上での基盤となる要件に言及する回答も一定数みられました。

表3-4 10年後も住んでいただける理由

類型NO	回答の類型	回答数(N=85)	実際の回答例(一部抜粋)
1	大型商業施設等の買い物に便利な場所	36	・大型ショッピングモールやスーパーマーケット、コンビニエンスストアなどが増えてほしい
2	公園・娯楽施設等の「遊べる場所」	18	・ボール遊びができる広い公園 ・室内テーマパークやゲームセンターなどの娯楽施設
3	公共交通機関の利便性	16	・電車の本数の増発など交通インフラの整備 ・都市圏への移動時間が短い交通手段
4	働く場所	12	・多様な業種の企業が通勤できる範囲にあること ・自分が働きたいと思える会社
5	カフェ等の飲食店	8	・外食できる場所が増えてほしい
6	大学や学習スペースなど教育の充実	6	・学生が勉強できる場所 ・大学やその先の働く場所
7	子育て・家族向け施設	4	・小さな子どもが遊べる場所

4. まちの魅力について

(1) まちの魅力

問13. あなたにとって、築上町の魅力は何ですか。

○築上町の魅力(自由記述)について、回答を類型化し、当てはまる回答の数が多かった上位7類型を表4-1に集約しました。自然・景観に関する回答が全体の半数以上を占めました。他には、「のどかで住みやすい」「人が温かい」「災害が少ない」など、生活の快適さに関する回答が多く、特産品や地域のイベントが充実している点を魅力に感じているとの回答も一定数みられました。

表4-1 まちの魅力

類型NO	回答の類型	回答数(N=298)	実際の回答例(一部抜粋)
1	自然・景観	158	・海や山があって自然を感じられる ・メタセコイアなど景観が綺麗である
2	のどかさ・住みやすさ	35	・静かで住みやすい ・誰もが暮らしやすい
3	人の温かさ・コミュニティ	29	・地域の人がとても優しい
4	食・グルメ・特産品	26	・お米や野菜がおいしい ・イチゴやスイートコーンなどの特産品がおいしい
5	歴史・名所・ランドマーク	24	・綱敷天満宮がある ・旧藏内邸が美しい
6	災害が少ない・安全・平和	22	・災害が少なく住みやすい ・比較的治安が良い
7	自衛隊および自衛隊が主催する航空祭等のイベント	19	・航空自衛隊の基地がある ・自衛隊で航空祭などの大きなイベントがあって楽しめる

○また、まちの住みやすさについて尋ねた問4で「住みにくい」と回答した人が、問13でまちの魅力として何を挙げているかに注目しました。「のどかさ・住みやすさ」や「災害が少ない・安全・平和」に言及する回答はわずかである一方、「自然・景観」を挙げる回答は4割以上あり、回答者全体と同様の回答の傾向がみられました。このことは、自然や特産品、イベントといった町のPRに資する要素を魅力として評価しているにもかかわらず、身近な生活環境に対する不満がその印象を上回り、「住みづらい」と感じている中高生が一定数いることを示唆しています。中高生が不満に感じている生活環境に関する課題を解決することで、「住みやすい」と回答する中高生の割合を高めることが可能だと考えることもできます。

表4-1 まちの魅力(問4で「住みにくい」と回答した人に限定)

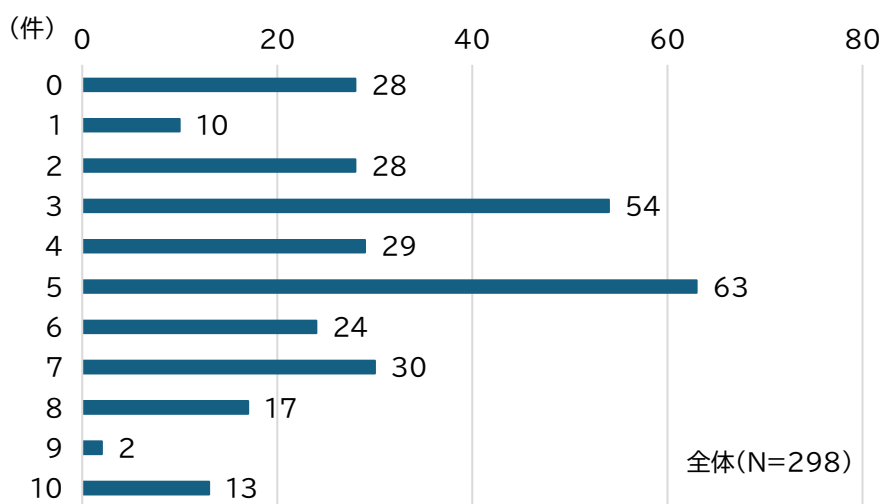
類型NO	回答の類型	回答数(N=81)	実際の回答例(一部抜粋)
1	自然・景観	34	・海や山があって自然を感じられる ・自然が多い。むしろそれしかない。
2	のどかさ・住みやすさ	3	・田舎らしさ
3	人の温かさ・コミュニティ	6	・人との繋がりよさ
4	食・グルメ・特産品	3	・菊芋や無花果がおいしい
5	歴史・名所・ランドマーク	5	・綱敷天満宮などの歴史的な建物がある
6	災害が少ない・安全・平和	2	・災害が少なく平和である
7	自衛隊および自衛隊が主催する航空祭等のイベント	4	・航空自衛隊の飛行機

(2) 友達や知人にすすめたい気持ち

問14. 築上町を友達や知人にすすめたい気持ちはどのくらいですか。

○築上町を友達や知人にすすめたいかについて、10段階評価のうち、「5」と回答した人が63名と最も多く、「0」から「5」までの回答数の合計(212名)が全体の約71%を占める結果となりました。全体として、築上町が中高生にとって友達や知人に積極的にすすめられる存在ではないことがわかります。

図4-2 友達や知人にすすめたい気持ち

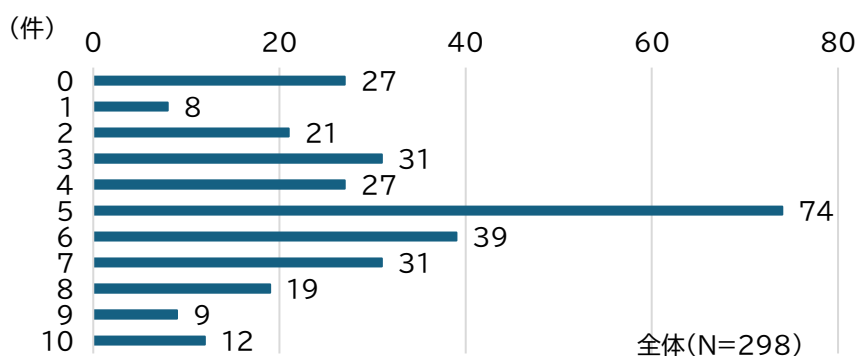


(3) まちをよくするための活動に参加したい気持ち

問15. 築上町をよくするための活動に参加したい気持ちはどのくらいですか。

○築上町をよくするための活動に参加したい気持ちについて、10段階評価のうち、「5」と回答した人が74名と最も多い一方で、「0」と回答した人も27名おり、全体として、活動参加に対しては消極的な中高生が多いことがうかがえます。

図4-3 まちをよくするための活動に参加したい気持ち

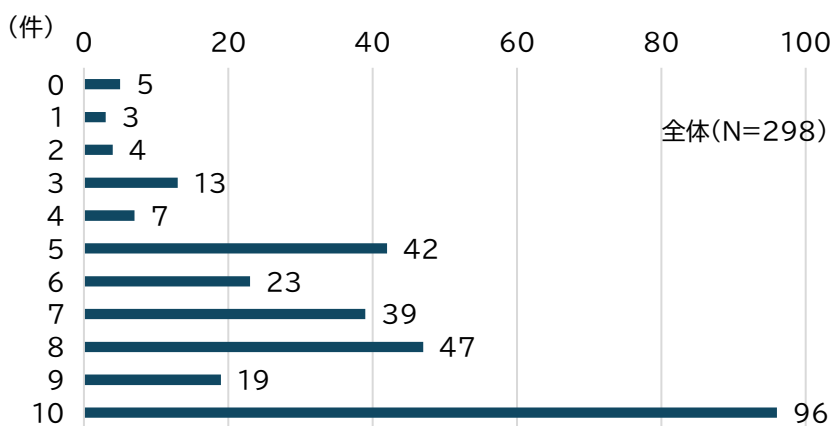


(4) まちをよくするための活動に参加している人への感謝の気持ち

問16. 築上町をよくしようと活動している人に感謝する気持ちはどのくらいですか。

○築上町をよくしようと活動している人に感謝する気持ちについて、10段階評価のうち、「10」と回答した人が96名と最も多い一方、「5」と回答した人が42名で3番目の多さとなっており、感謝の気持ちを強く持っているとはいえない層が一定数いることもうかがえます。

図4-4 まちをよくするための活動に参加している人への感謝の気持ち



5. 今後のまちづくりについて

(1) まちづくりのアイデアや希望

問17. 「築上町がこうなったらいいな」「こんなものがあったらいいな」など、まちづくりのアイデアや希望を書いてください。
(例: ほしい施設、やってほしいイベントなど)

○まちづくりのアイデアや希望(自由記述)について、回答を類型化し、当てはまる回答の数が特に多かった類型を表5-1に集約しました。大型商業施設や飲食チェーン店を増やしてほしいという回答が最も多くなりました。次いで、公園や娯楽施設等の「遊べる場所」の充実を求める回答が多かったほか、バスケットボールや陸上などのスポーツができる施設の充実を求める回答も一定数みられました。

表5-1 まちづくりのアイデアや希望

類型 NO	回答の類型	実際の回答例 (一部抜粋)
1	商業施設の充実(大型ショッピングモール、飲食チェーン店)	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日でも小さな子どもから大人まで安心して遊んだりショッピングしたりできる施設 ・大型ショッピングモールができると活気が出ると思う ・複合商業施設に入っているようなチェーン店を呼び込んでほしい
2	公園や娯楽施設等の「遊べる場所」の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具があってみんなで遊べる公園がほしい ・中高生が遊べる施設が増えてほしい
3	スポーツ施設等の運動できる環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・メタセの杜以外の運動できる施設を増やしてほしい ・老若男女が利用できるスポーツ施設を整備してほしい
4	イベント・祭り・にぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模なお祭りが増えてほしい ・有名人を呼んでイベントを開催してほしい
5	交通機関の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・電車の本数を増やしてほしい ・バスの存在を周知して本数や停留所を増やしてほしい

(2) 10年後の築上町

問18. 10年後、築上町がどのようなまちになってほしいと思いますか。

(例. 若い人や子育て世帯が安心して暮らせるまち、仕事や遊びの選択肢が増え、活気のあるまち、自然を大切にしながら便利に暮らせるまちなど)

○10年後、築上町がどのようなまちになってほしいか(自由記述)について、回答を類型化し、当てはまる回答の数が特に多かった類型を表5-2に集約しました。安心・安全に暮らせる住みやすいまちを求める回答が最も多くなりました。次いで、若者・子育て世代を中心に人口が増えてほしい、それによって町に活気が出てほしいといった回答が多くありました。

表5-2 10年後の築上町

類型 NO	回答の類型	実際の回答例 (一部抜粋)
1	安心・安全である、住みやすいまち	・みんなが安心して暮らせるまち ・まちの人が優しいままでいてほしい
2	人口が増えている、若者が定着している、活気・にぎわいがあるまち	・人口が増えて活気があるまち ・進学した若い人が帰って来たいと思えるまち
3	商業施設や遊べる施設が充実しているまち	・町内だけで買い物が完結できるまち ・町の外からも人々が遊びに来るまち
4	企業を誘致して仕事や雇用があるまち	・地域に貢献できる仕事が増えてほしい ・子育て世代の女性が近場で就職できるように企業を誘致してほしい
5	自然を大切に続けるまち	・風景は今のままでいい ・自然を大切にしながら便利に暮らせるまち